

令和7年度大学・高専機能強化支援事業
(支援1：学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援)
事業概要

令和7年2月申請時点

1. 基本情報

大学名	湘南工科大学	設置区分	私立
学校種	大学	都道府県	神奈川
大学全体の総収容定員	2,100 名 ※令和6年5月1日時点		
学部学科 組織構成	工学部（機械工学科、電気電子工学科、情報工学科、コンピュータ応用学科、総合デザイン学科、人間環境学科）、情報学部（情報学科） ※工学部情報工学科、コンピュータ応用学科は、令和5年度情報学部（情報学科）設置に伴い、令和5年度より募集停止		
事業計画名	工学とDXをベースに湘南地域で共創する実践的技術者を育成する新たな工学教育への転換		

2. 事業概要

本事業は、既存の工学教育から学生本位、学生のニーズに合わせた自由な学びを実現するため、これまでの**工学部4学科から工学部共創工学科4専攻（機械システム工学・電気電子情報工学・デザイン工学・共創工学）への転換**を行うものである。全学生が、**専攻に関わらず工学者として身に付けるべき基礎知識・技術を学び**、その上で各専攻の専門性を身に付けた、**社会の変化に対応できる実践的技術者を育成**する教育を実現するものであり、また**データサイエンス、プログラミングなどもあわせて身に付け**、DX社会で活躍できる**工学技術と情報技術を身に付けた人材を育成**するカリキュラムを構築する。

上記を実現するため、各専攻は閉じた組織ではなく、各学生の目指す将来像に合わせて他専攻の科目を組み合わせることが可能なカリキュラムを構築し、**多様な学生の将来像に合わせた学びの場を提供**する。

共創工学科では、**企業・自治体と連携した課題解決型授業**を行うため、**グループワークとものづくり作業を並行して行うことができる施設整備**をあわせて行う。

3. 本事業で新たに設置等を行う組織

改組予定年度	令和9年度					
認可申請・届出の別	届出					
改組内容	既存学部の収容定員の増加					
設置等組織名	工学部共創工学科					
設置等組織の学位分野	工学関係	-	-	-	-	-
当該学部等の所在地	神奈川県藤沢市					
入学定員	250 名					
収容定員	1,540 名					
入学定員の増加数	20 名					
他学部等の入学定員の減少数	20 名					



事業計画名 工学とDXをベースに湘南地域で共創する実践的技術者を育成する新たな工学教育への転換					
基本情報					
改組予定年度	令和9年度	設置等組織名	工学部共創工学科	入学定員増数(合計数)	20名
所在地	神奈川県藤沢市	改組内容	既存学部の収容定員の増加(学科組織変更を伴う)	入学定員減数(合計数)	20名

- <社会や地域のニーズ・課題>
- 労働人口の減少に伴い、社会基盤を支える技術者を安定して育成することが重要
→高度な専門知識よりも、広範な専門知識とコミュニケーション力を持つ技術者ニーズ
 - 地域・社会の課題に向き合い、それを他者と協働しながら解決できる人材、新たなものを他者と協力しながら生み出す共創の考えを持つ実践的技術者の育成

- <設置学部等の概要・コンセプト・特徴など>
- 既存4学科を1学科に統合し専攻制(機械システム工学専攻、電気電子情報工学専攻、デザイン工学専攻、共創工学専攻)を導入することで、学生のニーズに応じて1つの専門分野を極める／1つの専門分野を基盤として他専攻の学びを組み合わせる、などのカリキュラムの柔軟化
 - 大学内の閉じた学びだけでなく、湘南地域の企業・自治体と連携した技術者教育を行い、育成した学生を地域社会に輩出
 - インターンシップや企業技術者との協働による課題解決型実習などを通して、個々の学生が自身で課題を発見し、それを解決するために必要な学びを設計

- <教育内容・育成する人材像>
- 全学生が、専攻に関わらず工学者として身に付けるべき基礎知識・技術を学び、その上で各専攻の専門性を身に付けた、社会の変化に対応できる実践的技術者を育成
 - さらに、これらをより活用できるようにデータサイエンス、プログラミングなどを身に付け、DX社会で活躍できる工学技術と情報技術を身に付けた人材を育成
 - 各専攻は閉じた組織ではなく、機械×電気、機械×デザイン、電気×デザインなど、各学生の目指す将来像に合わせて組み合わせることが可能なカリキュラムを実現
 - 共創工学専攻では、専攻専門科目に加えて他専攻の基礎科目を組み合わせることで、エネルギー工学、防災・減災、海洋科学、福祉工学、健康科学、医用工学など複数の専門性を必要とする課題に向き合う人材を育成

- <連携を通じた教育体制の整備>
- 講義科目での企業・自治体との連携にとどまらず、インターンシップ、課題解決型実習などでは大学と企業とともに授業設計し、真に即戦力となる実践技術者を育成する教育プログラムを構築
 - 自治体との連携では、公務員技術職や中学校(特に技術教員)・高校教員の養成など、地域に貢献できる技術者・教育者を送り出すことにも注力

- <多様な入学者の確保>
- 総合型選抜では、「マッチングワークショップ方式」「探究活用方式」「課題レポート方式」「ものづくり方式」「育成方式」の多様な視点で学生を評価する入試を実施
 - 本学の教育理念に賛同する高校と連携協定を締結し、探究授業等の支援や参加を通じた適正の評価・受け入れ

